

日本人建築家夫婦、アメリカ東海岸でがんばる 第二回

ペンギン事務所、始まる。

河井容子 with 栗本貴哉

ペンギンとリーマンショック

私達は、自分達の事務所、ペンギン・エンヴァイロンメンタル・デザインの米国法人を、2008年に立上げた。それはリーマンショックの起こった年であり、今なお続く住宅不況の始点であった。何でわざわざそんな時に始めたのかと、よく聞かれる。もともと独立したかった二人が、私の博士論文研究の時期を終え、起業に必要なグリーンカードが手に入ったのが、その時期だったというだけである。ただ、もしその代わりに、どこかの組織で働いたところで、安定した職は望めない時期だったから、そうした状況が「じゃあここで夢でもかなえてみるか」と背中を押したのではあったかもしれない。

リーマンショックの先駆けであるサブプライムローン問題は、前年の2007年から、はっきりと見えていた。差し押さえになった、売れない家々のゴーストタウンが、米国のあちこちに出現した。東海岸では、もともと新規の住宅開発が少なかったもので、影響はやや少なかったとは言うものの、道を歩けば、どちらを向いても不動産売出し中の看板が、立てられていた（写真）。



アメリカの不動産売出し看板（2008年当時）

ペンギン事務所初年度の仕事のうち、住宅は3件であったが、そのいずれも建設に至らなかった。よくぞそんなものを生き延びてきたと、自分達でも思う。明らかに私達はリスクテーカーである。

個人で会社を立ち上げるということ

設計事務所は、いうまでもなくビジネスである。2008年に米国で会社を立ち上げようとしたとき、私達は設計については、20年の経験があったが、ビジネスについては素人であった。弁護士やコンサルタントを雇えば、設立の手続きなどをしてもらえるのだが、そんな資金はない。だから全部、自分達でやってしまうことにした。無謀な話だが、ありがたいことに米国は起業に協力的な国で、あれこれの助けを借りた結果、何とかなったのである。

最初に行ったのがスコア（SCORE）という、スモールビジネスへの助言を、無料でしてくれる組織である。起業教室があって、それに参加した。会社の種別や、州政府への登録先や手続きなどの、事務的な事柄から、マーケティングに必要な知識までを、一日かけて教えてくれる。ビジネスプランという、会社の設立趣旨や、業務の特長、サービス単価や終始予測をまとめたものが、必要だと言われ、後日その下書きを添削してもらったりもした。

アメリカは契約と訴訟の国である。契約書の雛形づくりと、損害賠償保険については頑張っ
て調べた。建設後何十年経とうとも、それが明らかに設計に関係なくても、建物関係の問題
では必ず、そしてしばしば設計者は訴えられる。しかも訴訟に負けたり、訴訟にお金がかか
った場合、設計時ではなく、訴訟時に保険に加入していなくては、保険金は出ない。だから
一旦設計事務所を始めた者は、死ぬまで保険金を払い続けるという恐ろしい仕組みだが、そ
の保険も何とか適当なものに入ることができた。事務所立上げ作業を、自前でやったのは、
米国のビジネスの仕組みを知る上で、大変勉強になった。

ペンギンがやりたかったこと

リスクを負い、慣れないビジネスをしてまで、二人で独立して、やりたかったことは、はっ
きりしている。内と外とをつなぐことである。建築家とランドスケープアーキテクトが、協
同するのだから、当然ではないか！当初のビジネスプランにも、明記してあり、その後ゆる
ぎはない。ここで「外」というのは、外部空間をさすのみでなく、環境や社会をもさす。建
築表皮の内外的間に、そして敷地の内外の間に、新しい関係性をつくりたかった。

どうすれば、それができるのだろうか？日本の建築や集落の開放性に、そのヒントがあると思
えている。初めは、和という言葉を使っていた。でもこの言葉は、設計概念というよりも、
デザインテイスト・様式のように捉えられがちである。私達は、和風の「なんちゃって日本
建築・日本庭園」を最終目標にしているわけではない。だから最近では、日本性（Japan-ness）
という言葉を使うようにしている。

独立したとき、恩師が「ペンギンは陸ではよちよち歩きですが、海では素早いと聞いていま
す。」と励ましてくださったのが、忘れられない。設立して7年になるが、海中を飛ぶペン
ギンの活躍は、まだまだ始まったばかりである。やりたかったことが、ちゃんとできつつあ
るか、このエッセーを通して見守って頂きたい。(Y)

ペンギン・エンヴァイロンメンタル・デザイン： 米国コネチカット州
に本拠地をおく、建築とランドスケープの設計事務所。河井容子と栗本
貴哉との共同主宰。一級建築士事務所（大阪府登録）。

本文の著作権は、Penguin Environmental Design L.L.C.に属し、個人使
用以外のコピー、配布を禁ずる。本文内容についての問い合わせは、
info@PEDarch.com まで。